鮮語朝鮮文学科によって、その実現の可能性が閉ざされていた（文献㉗）。

## 五　朝鮮語学科の復活と朝鮮語教育

### 1　朝鮮語学科の復活

東京外国語大学に朝鮮語学科が復活したのは、一九七七（昭和五十二）年四月である。東京外国語学校朝鮮語部が法的に廃止されて五〇年目のことであった。戦後の新制大学では、二五年創立の天理外国語学校朝鮮語部を引き継いだ天理大学外国語学部朝鮮学科のみが朝鮮語専門の学科であった。その後、六三年に大阪外国語大学に朝鮮語学科が設置され、これが戦後国立大学の最初の朝鮮語学科となった。東京外国語大学朝鮮語学科は、これに次ぐ朝鮮語学科であり、同じ年に富山大学人文学部に朝鮮語朝鮮文学コースが設置されている。

七〇年代半ばは、ＮＨＫに朝鮮語講座開設を求める市民運動など、朝鮮語学習に対する関心が高まりをみせた時期であり、また当時の永井道雄文部大臣が七五年五月の講演で朝鮮語教育の必要性を主張していた（文献⑱）。本学としても、朝鮮語が学科として存在していないことの不備を指摘する意見が強まりつつあり、一九七五（昭和五十）年十二月の教授会では、坂本是忠学長により七七年度の大学整備計画の一つとして朝鮮語教育の実施について検討したい旨の発言があった。もっとも朝鮮語学科の設置に対しては、大学紛争の余波のような形で学内の一部に根強い反対意見があったが、それは朝鮮語学科の設置は、六五年の日韓条約締結の延長線での日本の政府や企業による朝鮮再侵略政策の一環であるというものであった。七六年一月十四日の教授会で坂本学長が朝鮮語学科設立準備委員会の設置

**表7　東京外国語大学朝鮮語学科（専攻）専任教官一覧（赴任順、数字は年度）**

菅野裕臣（言語学、1936年生）　1977講師、1978助教授、1981教授（～1997、現神田外語大学）
長　璋吉（文学、1941年生）　1978講師（～1987、1988神田外語大学、故人）
池川英勝（歴史学、1944年生）　1979講師、1987助教授（～1989、現天理大学）
三枝壽勝（文学、1941年生）　1981講師、1986助教授、1992教授（～現在）
吉田光男（歴史学、1946年生）　1982助手、1985講師、1987助教授（～1993、現東京大学）
徐　尚揆（言語学、1959年生）　1988助手（～1993、現延世大学校）
野間秀樹（言語学、1953年生）　1991講師、1995助教授、1998教授（～現在）
丹羽　泉（宗教学、1956年生）　1992講師、1996助教授（～現在）
伊藤英人（言語学、1961年生）　1993助手、1997講師（～現在）
月脚達彦（歴史学、1962年生）　1995助手、1997講師（～現在）

**表8　客員教官一覧**

| 年度 | 姓　名 | 年度 | 姓　名 |
|---|---|---|---|
| 1977 | —— | 1988 | 鄭堤文（言語学） |
| 1978 | 金用淑（文学） | 1989 | 朴良圭（言語学） |
| 1979 | 金用淑 | 1990 | 朴良圭 |
| 1980 | 金泰俊（文学） | 1991 | 安慶華（言語学） |
| 1981 | 金泰俊 | 1992 | 安慶華 |
| 1982 | 成百仁（言語学）・崔鶴根（言語学） | 1993 | 申昌淳（言語学） |
| 1983 | 崔応九（言語学） | 1994 | 李浩権（言語学） |
| 1984 | 康仁善（言語学） | 1995 | 李浩権 |
| 1985 | 康仁善 | 1996 | 李浩権 |
| 1986 | 金周源（言語学） | 1997 | 李珖鎬（言語学） |
| 1987 | 金周源 | 1998 | 韓在永（言語学） |

を提案し、間もなく反対派を含んだ委員が指名された（小澤重男教授＝委員長、竹内与之助教授、渡瀬嘉朗・志水速雄・中嶋嶺雄の各助教授）。その後、朝鮮半島の南北分断状況などに基因するいくつかの曲折も経た後、朝鮮語学科は七七年四月に開講の運びとなった。九五年の学部改編によって、朝鮮語学科は東アジア課程朝鮮語専攻となり、今日にいたっている。

七七年の復活当時、専任教官は九州大学から赴任した菅野裕臣（言語学）一人であったが、その後、表7のとおり専任教官が赴任し、言語・文

学・事情各分野に専任スタッフが配置されるようになった。客員教官は、表8のとおり七八年から招聘されており、また八一年からは朝鮮大学校の教員が語学・文学、歴史の分野を年度交代で担当している。

学生入学定員は一五人ではじまったが、数度の定員増を繰り返し、一九九八年四月現在、入学定員三五人を有する本学でも中規模の専攻語となっている。各年度の入学・卒業者数は表9のとおりである。

国際交流については、八〇年に韓国延世大学校、九二年に韓国ソウル大学校、九七年にウズベキスタン共和国タシケント国立東洋学大学との間に大学間交流協定を締結し、教官の研究・教育交流、留学生の相互派遣などが続けられている。

**表9　朝鮮語学科（専攻）学生数の推移**

| 年度 | 入学定員 | 志願者数 | 入学者数 | 在学者数 | 卒業者数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1977 | 15 | 39（9） | 12（2） | 12（2） | ― |
| 1978 | 15 | 91（23） | 12（4） | 22（6） | ― |
| 1979 | 15 | 45（10） | 15（3） | 38（9） | ― |
| 1980 | 15 | 62（13） | 15（4） | 51（13） | 6（2） |
| 1981 | 15 | 38（14） | 14（3） | 59（14） | 8（4） |
| 1982 | 15 | 66（21） | 15（3） | 64（13） | 11（3） |
| 1983 | 15 | 60（21） | 15（8） | 63（18） | 16（3） |
| 1984 | 15 | 69（28） | 15（9） | 63（24） | 15（4） |
| 1985 | 15 | 65（26） | 15（6） | 65（26） | 12（1） |
| 1986 | 17 | 97（45） | 17（10） | 67（33） | 12（4） |
| 1987 | 19 | 142（49） | 19（9） | 73（38） | 17（10） |
| 1988 | 20 | 115（49） | 20（14） | 74（41） | 13（5） |
| 1989 | 20 | 74（26） | 20（11） | 80（46） | 18（11） |
| 1990 | 20 | 252（100） | 20（4） | 80（37） | 13（7） |
| 1991 | 35 | 276（137） | 35（20） | 99（49） | 18（13） |
| 1992 | 35 | 209（100） | 34（21） | 115（57） | 19（11） |
| 1993 | 35 | 179（74） | 35（16） | 131（62） | 15（4） |
| 1994 | 35 | 212（90） | 39（19） | 155（77） | 24（11） |
| 1995 | 35 | 191（101） | 35（22） | 164（87） | 42（27） |
| 1996 | 35 | 164（85） | 36（17） | 158（77） | 22（13） |
| 1997 | 35 | 152（97） | 35（18） | 167（79） | 42（19） |
| 1998 | 35 | 185（115） | 38（22） | 162（82） | |

出典：『東京外国語大学概要』各年度。（　）内の数字は女子、内数。